

回											
覧											

<h1>丘珠空港ニュース</h1>	第1号（平成15年7月 日） お問い合わせは… 札幌市企画調整局企画部企画課 （土地利用・空港調整担当） 電話：211-2192
-------------------	--

○ 丘珠空港ニュースの発行にあたって

「丘珠空港ニュース」は、丘珠空港と周辺のまちづくりの現状や今後の計画などを地域の皆様
 に知っていただくために発行するものです。

第1号では、丘珠空港に係るこれまでの経緯と、さる6月13日に開催した「第9回丘珠空港
 連絡会議」の内容について、お知らせいたします。

○ 丘珠空港に係るこれまでの経緯

丘珠空港については、民間定期便に就航していたYS11型機がリタイア（退役）を予定して
 いたことから、北海道と本市では、平成8年7月に、引き続き道内航空網の拠点空港として、後
 継プロペラ機による路線存続を図ることといたしました。

このために必要な空港整備については、平成9年8月からスタートした住民説明会などにおい
 て地域の皆様から寄せられている環境悪化を懸念する声にも十分配慮しながら、「空港整備に係
 る基本的な考え方」（以下「基本的考え方」）をまとめ、平成10年12月の第5回住民説明会に
 おいて、地域の皆様に説明いたしました。

【空港整備に係る基本的な考え方】

- ① 滑走路延長は100mとする。（全長1,500mとする。）
- ② 延長方向は南東方向（伏籠川方向）とする。
- ③ 定期便の運航便数は、現在の生活環境を悪化させないことを基本にする。
- ④ 環境基準を超えない運航便数は、現状の2倍（44便）程度を想定する。
- ⑤ 今後も、毎年騒音の実測調査を行い、環境基準との関連を検証しながら、空港周辺の生活
 環境の保全を図っていく。

この「基本的考え方」に対し、地域には一部に反対の声もありましたが、本市では、①議会の
 意向、②住民説明会の状況、③市長への要望、④地域での会合の状況、などを踏まえて総体的に
 地域の理解は得られたものと判断し、平成11年1月の第6回住民説明会において、判断の根拠
 を含めて、その旨を地域の皆様に説明いたしました。その後、同年2月には、北海道とともに「基
 本的考え方」に基づいた空港整備の事業化を国に要望しました。

ただ、地域には依然として多種多様な意見があることも事実であり、今後、丘珠空港が真に地
 域と共生していくためには、引き続き同空港について、より一層地域の皆様に理解を深めてい
 いただくことが重要でした。

そのためには、行政として積極的に情報提供を行うことにより情報の共有化を図り、また、多
 様な意見交換を通じた建設的な議論を継続的に行っていくことが必要です。そのための常設機関
 として平成11年7月に、丘珠空港周辺の住民自治組織の代表者や関係団体の代表者で構成する
 「丘珠空港連絡会議」を設置しました。

○ 第9回丘珠空港連絡会議での説明内容の概要

1 丘珠空港整備事業の概要について

丘珠空港の定期便に就航していたYS11型機の退役後も、丘珠空港が道内航空網の拠点空港としての役割を果たしていくために、平成12年度から滑走路100mの延長を基本とする空港整備が進められてきましたが、今年度中に一連の工事は完了することになります。

① 事業概要

- ・ 滑走路改良：滑走路延長（1,400m→1,500m）、滑走路拡幅（30m→45m）
- ・ ターミナル地区の改良（エプロンの拡張等）
- ・ その他（雨水調整池の設置等）

② 事業期間

平成12年度～15年度末

2 丘珠空港緑地整備事業の概要について

本市では、丘珠空港の環境対策の目的などから、丘珠空港の周辺に緑地帯を整備することとしています。全体構想は約50haを超えるため、段階的に整備を進めることとしています。

現在、空港の滑走路延長側にあたる南東地区（約27ha）について事業を進めており、平成17～18年度に用地買収を完了し、平成21年度までには緑地整備を完了する予定です。

なお、事業未着手の北西地区・北東地区（併せて約28ha）については、今年度、事業化スケジュールをまとめたいと考えています。

3 航空会社の新規乗入れについて（㈱北海道エアシステムの乗入れについて）

丘珠空港の定期便に就航してきたYS11型機は、本年5月をもって丘珠路線から退役しました。

YS11型機4機が全て低騒音型のDHC8-300型機（56席）に更新され、㈱エアニッポンネットワーク（A-net）が、道内5路線・13往復（26便）を運航しています。

YS11型機の全面退役と低騒音型機の導入に伴い、「基本的考え方」においてまとめた、航空機騒音の環境基準（うるささ指数…航空機騒音の大きさと発着回数の方を加味した評価尺度）を超えない範囲での発着枠の拡大が可能になりました。

この発着枠の拡大を契機として、㈱北海道エアシステム（HAC）が、丘珠空港へ乗入れすることになりました。

使用機材のSAAB340型機（36席）は、DHC8-300型機と同様の低騒音の機材です。

8月1日から、函館路線（2往復）、釧路路線（1往復）の運航を開始します。

○ お知らせ

丘珠空港ニュース第2号は、秋頃に、「丘珠空港周辺のまちづくり連絡協議会」の内容を中心に発行する予定です。

なお、「第9回丘珠空港連絡会議」の内容については、札幌市のホームページにも掲載しました。

URLは、<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/okadama/> です。

